

2025年6月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 ONE GROUP株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6168 URL <https://1group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 文彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 山川 晋 TEL 06 (6787) 1818
 中間発行情報提出予定日 2025年3月28日 配当支払開始予定日 -
 中間決算補足説明資料作成の有無：無
 中間決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期中間期の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は、対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	3,251	△5.1	△63	—	△68	—	△56	—
2024年6月期中間期	3,425	26.9	△121	—	△127	—	△160	—

（注）中間包括利益 2025年6月期中間期 △66百万円（-%） 2024年6月期中間期 △169百万円（-%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	△72.29	—
2024年6月期中間期	△205.66	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益について、2024年6月期中間期及び2025年6月期中間期は、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	9,268	1,842	18.4
2024年6月期	9,581	1,909	18.3

（参考）自己資本 2025年6月期中間期 1,700百万円 2024年6月期 1,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	0.00	0.00	0.00
2025年6月期	0.00		
2025年6月期（予想）		—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2025年6月期の期末配当については、現時点で未定であります。

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,739	1.0	24	—	13	—	36	△75.5	47.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 連結業績予想につきましては、2025年2月4日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期中間期	1,300,010株	2024年6月期	1,300,010株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	520,000株	2024年6月期	520,000株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年6月期中間期	780,010株	2024年6月期中間期	780,010株

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3ページの「1. 当中間決算の経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算の経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算の経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年7月1日から2024年12月31日)における世界経済は、欧州・米国経済においては個人消費を中心に底堅く推移したものの、中国経済の停滞、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化など、地政学リスクの高まりにより不安定な為替相場への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

日本経済におきましては、インバウンド需要拡大や大幅な賃上げによる所得環境改善による経済活動の正常化が進み、全体としては緩やかな回復基調で推移しましたが、海外景気の下振れや物価上昇、不安定な国際情勢による金融資本市場の変動など、先行きに対し不透明さを抱えての推移となりました。

当社グループが属する金属加工業界、特に工作機械業界については、2024年の年間受注額(速報値)が前年比0.2%減の1兆4,832億円となり、前年並みまで回復したものの、2年連続の減少となりました。春先から中国を中心としたアジア地域で前年比増加傾向が続いておりましたが、2024年後半から回復が期待された自動車や半導体関連の設備投資が伸び悩む結果となりました。

日本工作機械工業会が発表した2024年12月の工作機械受注額(速報値)は、国内外を合わせた受注総額で前年同月比11.2%増の1,412億円となりました。他方、自動車業界におきましては、一部メーカーにおける自動車認証試験不正問題による生産減少や中国市場での不振により、先行き不透明な厳しい状況が続いております。日本自動車販売協会連合会が発表した2024年12月の国内新車販売台数は、前年同月比9.3%減の21万746台となり2024年1月から12月の累計値についても前年同期比マイナス5.6%と低迷する結果となりました。

このような状況の下、当社グループは、労務費、原材料価格、エネルギーコストの上昇を販売価格に転嫁するための活動を継続すると同時に、金属加工研究所の技術者による技術営業を展開することで新たなニーズの掘り起こしと新規顧客の開拓を進めております。また、製造活動においては、生産活動の効率化に向けた活動を当社が中心となり取組みを進めてまいりました。

当社グループの業績につきましては、精密歯車製造事業・大型ねじ等製造事業の売上高は1,434,741千円(前年同期比6.3%減)となり、自動車部品市場に関連する金属パイプ加工事業の売上高は297,977千円(前年同期比12.4%減)となりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は、主力事業の精密歯車製造事業・大型ねじ等製造事業及び金属パイプ加工事業の売上が低調に推移したことが影響し3,251,858千円(前年同期比5.1%減)となり、利益面につきましては、労務費、原材料価格、エネルギーコストの上昇を販売価格に転嫁する活動及び生産効率の改善、管理コスト削減を推進したものの、営業損失63,951千円(前年同期は営業損失121,058千円)となりました。また、経常損益につきましては経常損失68,429千円(前年同期は経常損失127,702千円)となり、親会社株主に帰属する中間純損失は56,394千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失160,422千円)となりました。

なお、当社グループは金属製品加工事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は3,913,297千円となり、前連結会計年度末に比べ356,294千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が285,196千円減少、受取手形及び売掛金が72,513千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は5,354,762千円となり、前連結会計年度末に比べ42,357千円増加いたしました。これは主に、リース資産が122,813千円増加、建物及び構築物が39,554千円減少、機械装置及び運搬具が32,731千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,578,330千円となり、前連結会計年度末に比べ190,547千円減少いたしました。これは主に、未払金が104,443千円減少、短期借入金が60,000千円減少、1年以内返済予定の長期借入金が25,764千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は4,847,380千円となり、前連結会計年度末に比べ56,567千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が197,523千円減少、長期リース債務が142,801千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は1,842,349千円となり、前連結会計年度末に比べ66,821千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失56,394千円の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,198,362千円で、前連結会計年度末に比べ313,197千円減少しております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は236,241千円(前年同期は110,551千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失49,185千円、減価償却費294,068千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は169,572千円(前年同期は121,728千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出177,494千円、定期預金の増加額28,000千円、投資有価証券の売却による収入40,846千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は378,610千円(前年同期は205,026千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出573,287千円、リース債務の返済による支出95,323千円、長期借入れによる収入350,000千円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月4日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,511,559	1,226,362
受取手形及び売掛金	749,118	676,605
電子記録債権	747,230	780,692
製品	355,982	405,053
仕掛品	449,862	457,062
原材料	207,059	209,736
その他	248,780	157,784
流動資産合計	4,269,592	3,913,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,805,708	1,766,153
機械装置及び運搬具(純額)	1,111,455	1,078,724
土地	1,489,648	1,489,648
リース資産(純額)	446,537	569,350
その他(純額)	69,243	77,521
有形固定資産合計	4,922,592	4,981,397
無形固定資産		
のれん	132,757	120,472
ソフトウェア	14,912	14,182
ソフトウェア仮勘定	78,914	88,129
無形固定資産合計	226,584	222,785
投資その他の資産		
投資有価証券	7,072	7,995
繰延税金資産	19,072	15,899
その他	137,082	126,683
投資その他の資産合計	163,227	150,579
固定資産合計	5,312,404	5,354,762
資産合計	9,581,997	9,268,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,148	292,101
電子記録債務	184,171	174,984
短期借入金	310,000	250,000
1年以内返済予定の長期借入金	1,075,063	1,049,299
リース債務	162,900	154,810
未払金	262,460	158,017
営業外電子記録債務	4,950	372
未払法人税等	10,705	6,956
未払消費税等	53,950	60,610
賞与引当金	130,802	130,877
その他	259,726	300,300
流動負債合計	2,768,878	2,578,330
固定負債		
長期借入金	3,658,599	3,461,076
社債	300,000	300,000
リース債務	319,633	462,434
繰延税金負債	197,706	198,972
役員退職慰労引当金	10,824	-
退職給付に係る負債	398,838	395,726
その他	18,346	29,170
固定負債合計	4,903,947	4,847,380
負債合計	7,672,826	7,425,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	829,387	836,263
利益剰余金	1,121,374	1,064,980
自己株式	△252,720	△252,720
株主資本合計	1,708,042	1,658,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△112	390
為替換算調整勘定	49,346	42,021
その他の包括利益累計額合計	49,234	42,412
新株予約権	110	110
非支配株主持分	151,784	141,302
純資産合計	1,909,170	1,842,349
負債純資産合計	9,581,997	9,268,060

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,425,612	3,251,858
売上原価	2,912,335	2,763,764
売上総利益	513,277	488,093
販売費及び一般管理費	634,335	552,045
営業損失(△)	△121,058	△63,951
営業外収益		
受取利息	65	1,250
受取配当金	—	46
助成金収入	2,752	1,784
社宅使用料	2,730	3,046
その他	6,403	8,329
営業外収益合計	11,951	14,457
営業外費用		
支払利息	15,794	17,511
為替差損	1,963	696
その他	837	728
営業外費用合計	18,594	18,935
経常損失(△)	△127,702	△68,429
特別利益		
固定資産売却益	1,916	989
国庫補助金	3,000	3,122
保険解約返戻金	—	16,907
投資有価証券売却益	2,908	—
特別利益合計	7,825	21,019
特別損失		
固定資産売却損	3,126	78
固定資産除却損	755	1,696
特別損失合計	3,881	1,775
税金等調整前中間純損失(△)	△123,758	△49,185
法人税、住民税及び事業税	6,872	5,702
法人税等調整額	36,627	4,178
法人税等合計	43,499	9,881
中間純損失(△)	△167,257	△59,066
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△6,835	△2,672
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△160,422	△56,394

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純損失(△)	△167,257	△59,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,136	503
為替換算調整勘定	△1,054	△8,258
その他の包括利益合計	△2,191	△7,754
中間包括利益	△169,449	△66,821
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△162,605	△63,216
非支配株主に係る中間包括利益	△6,844	△3,605

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	773,269	974,379	△252,720	1,504,929
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	—	—	△160,422	—	△160,422
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	56,117	—	—	56,117
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当中間期変動額合計	—	56,117	△160,422	—	△104,304
当中間期末残高	10,000	829,387	813,957	△252,720	1,400,624

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	932	22,105	23,037	110	206,301	1,734,377
当中間期変動額						
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	—	—	—	—	—	△160,422
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—	56,117
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,136	△1,045	△2,182	—	△62,962	△65,144
当中間期変動額合計	△1,136	△1,045	△2,182	—	△62,962	△169,449
当中間期末残高	△204	21,059	20,855	110	143,339	1,564,928

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	829,387	1,121,374	△252,720	1,708,042
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	—	—	△56,394	—	△56,394
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	6,876	—	—	6,876
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当中間期変動額合計	—	6,876	△56,394	—	△49,517
当中間期末残高	10,000	836,263	1,064,980	△252,720	1,658,524

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△112	49,346	49,234	110	151,784	1,909,170
当中間期変動額						
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	—	—	—	—	—	△56,394
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—	6,876
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	503	△7,325	△6,821	—	△10,482	△17,303
当中間期変動額合計	503	△7,325	△6,821	—	△10,482	△66,821
当中間期末残高	390	42,021	42,412	110	141,302	1,842,349

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△123,758	△49,185
減価償却費	313,252	294,068
のれん償却額	12,284	12,284
固定資産売却損益(△は益)	1,209	△910
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,908	-
国庫補助金	△3,000	△3,122
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,615	118
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,108	△3,112
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,276	△10,824
受取利息及び受取配当金	△65	△1,296
支払利息	15,794	17,511
売上債権の増減額(△は増加)	131,887	38,993
棚卸資産の増減額(△は増加)	9,818	△61,816
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,687	△30,892
未払金の増減額(△は減少)	△8,662	△74,254
契約負債の増減額(△は減少)	△29,179	61,087
未払費用の増減額(△は減少)	△173,515	△28,007
その他	10,937	88,894
小計	104,174	249,536
国庫補助金の受取額	3,000	-
利息及び配当金の受取額	65	1,296
利息の支払額	△15,589	△17,562
法人税等の支払額	△33,406	△10,705
法人税等の還付額	52,307	13,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,551	236,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	190,189	△28,000
有形固定資産の取得による支出	△324,293	△177,494
有形固定資産の売却による収入	10,322	7,006
無形固定資産の取得による支出	△14,281	△13,306
投資有価証券の売却による収入	11,396	40,846
その他	4,938	1,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,728	△169,572
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	35,000	△60,000
長期借入れによる収入	560,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△707,724	△573,287
リース債務の返済による支出	△91,213	△95,323
その他	△1,088	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,026	△378,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△323	△1,255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△216,526	△313,197
現金及び現金同等物の期首残高	1,678,786	1,511,559
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,462,260	1,198,362

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました営業外収益の「保険配当金」は重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。

また前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました営業外費用の「控除対象外消費税」は重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、営業外収益の「保険配当金」に表示していた250千円は、「その他」6,403千円として、営業外費用の「控除対象外消費税」に表示していた14千円は、「その他」837千円として組替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「契約負債の増減額(△は減少)」は金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

また、前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました営業活動によるキャッシュ・フローの「未収入金の増減額(△は増加)」は重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フロー計算書の「その他」に表示していた△1,303千円は、「契約負債の増減額(△は減少)」△29,179千円、「その他」27,876千円として組替えたうえで、営業活動によるキャッシュ・フローの「未収入金の増減額(△は増加)」に表示していた△16,938千円は、「その他」として組替えしております。

(セグメント情報)

当社グループは金属部品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。